

北海道浮魚ニュース

平成 26 (2014) 年度 2 号

2014 年 4 月 30 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

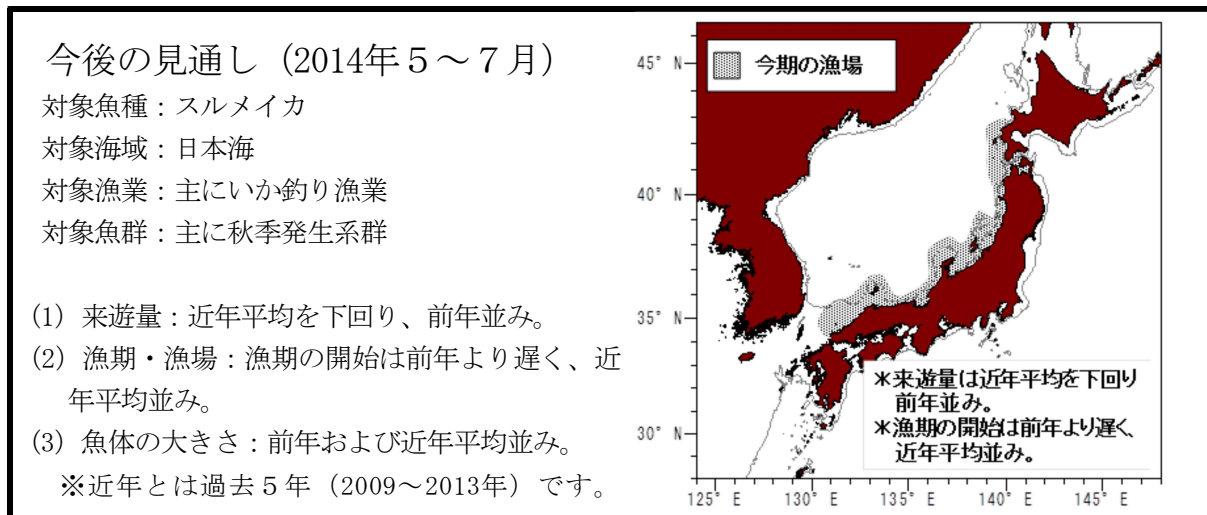
◎第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

4 月 30 日、第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので、概要をお知らせします。今回は本州各府県を主な対象とした漁期前半 (5~7 月) の予報です。

なお、この予報は水産研究所と日本海側道府県水産研究機関が参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のホームページでご覧になれます。

水産庁 (<http://www.jfa.maff.go.jp/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)



・2013 年 10~11 月に実施した幼生分布調査での幼生の平均分布密度は 2012 年および近年平均を下回りました。2014 年 4 月に実施した新規加入量調査では今期 (5 月~7 月) の漁獲対象になると予想される外套背長 5 cm 以上のスルメイカの平均分布密度は近年平均を下回り 2013 年と同程度でした。以上の結果から、今期の来遊量は近年平均を下回り前年並みと予想されました。

・漁期・漁場の予報は主に本州における漁獲が対象です。海況予報では日本海の 4 月~6 月の対馬暖流域の表面水温および水深 50m の水温は平年並みで推移すると予測されています。このことから漁期の開始は前年より遅く近年平均並みと予想されました。ただし海域ごとの来遊時期はその時々水温状況によっても大きく変化すると考えられます。

今後の北海道日本海へのスルメイカ来遊状況に関しては、函館水試調査船金星丸により実施する 5 月中~下旬の日本海北上期調査および 6 月中旬の日本海漁場一斉調査の結果も参照して下さい。また、漁期後半については 7 月に第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表される予定です。その他の情報とともに、随時浮魚ニュースでお知らせします。

(函館水産試験場調査研究部、TEL:0138-57-6056、FAX:0138-57-5991)